

富山県水産業振興計画

平成 31 年 3 月

富山県

水産業を取り巻く現状

日本における漁業生産量、魚介類消費量の長期的な減少	水産政策の改革(漁業法改正)資源管理と成長産業化
世界における漁業生産量、魚介類消費量の増大	地球温暖化による海洋環境の変化(魚類の分布域の北上)

本県水産業の主な情勢の変化や課題

- 漁業法改正による新たな資源管理システムの構築(TAC拡充、IQ導入)
⇒ 適切な資源管理の推進、クロマグロ放流技術の開発、ブリ回遊の解明
- ブリ等の漁獲量の大幅な変動
⇒ キジハタ、アカムツ栽培漁業や海面養殖業などつくり育てる漁業の推進

(トン)

	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
ブリ	157	373	114	174	104	144	219
ホタルイカ	946	2,474	1,717	1,476	1,194	1,299	689

- 「富山のさかな」の全国的な知名度向上、湾クラブ総会や東京オリパラ等を契機としたインバウンドの拡大
⇒ 首都圏でのPR強化、SNS活用や多言語化等による国内外への発信

- 漁業者の減少(若年層は増加、全体として減少)、生産コストの増大
⇒ 新規担い手育成・確保策の充実、ICT導入などスマート水産業の推進

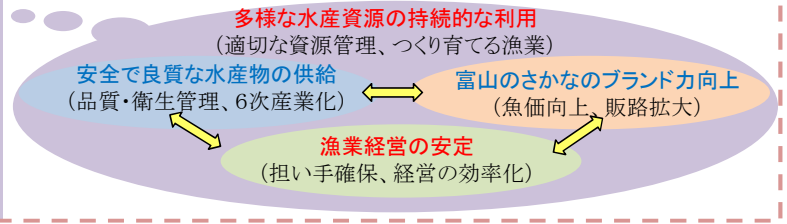
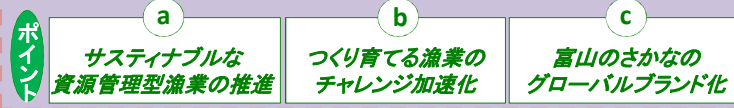
	H15	H20	H25
漁業就業者数	1,485人	1,568人	1,428人
40歳未満者数	208人	331人	389人
若年層の割合	14.0%	21.1%	27.2%

※H20から統計調査方法が変更

- 地震や台風等による全国各地での災害の発生、漁港施設の老朽化
⇒ 漁港施設の高波対策や耐震・耐津波対策、計画的な補修・長寿命化

基本目標

富山湾及びその周辺海域の多様な水産資源が持続的に利用され、豊かな食生活を支える安全で良質な水産物が供給されるとともに、富山湾のさかなのブランド力の向上により漁業経営が安定していること。



◎新総合計画「元気とやま創造計画」の政策【活力15】「水産業の振興と富山湾のさかなのブランド力向上」を具体的に推進

施策の体系	主な取組み(新規・拡充など)	主な参考指標 現状→2026年度 (◎は総合計画の指標)
(1) 持続可能な漁業の推進	① TAC対象魚種の拡充(漁業法改正)に対応する、本県の漁獲実態を考慮した適切な資源管理の実践 ② ICT活用や漁具改良等による定置網における小型クロマグロ放流技術の開発(国等と連携) ③ 水見栽培漁業センターにおける海水井戸の試掘や水質調査など、栽培漁業の推進方策の調査検討 ④ サクラマスや海藻類の海面養殖業の推進 ⑤ サクラマスの発眼卵埋設放流や親魚放流等の省コストな放流手法の研究推進 ⑥ 地場産の主体とする健康なアユ種苗が供給・放流される体制づくりの推進 ⑦ 地域の漁業者や県民グループ等が行う藻場の保全、海岸・河川清掃、稚魚放流等への支援 ⑧ 電子タグを用いた放流調査など国等と連携したブリの回遊経路の解明の推進 ⑨ キジハタ・アカムツ栽培漁業の事業化に向けた技術開発の加速化 ⑩ 「はやつき」代船建造等による最新調査機器を用いた漁場環境調査の実施	◎沿岸漁業の漁獲量 22,687トン → 23,500トン 栽培漁業対象種の産出額 187百万円 → 206百万円 サクラマスの河川漁獲量 2トン → 3トン
(2) 安全で良質な水産物の安定供給	① 漁業者が行う品質管理の高度化や地域団体商標登録等による良質な水産物の供給の推進 ② 水産物の鮮度保持施設や高度な衛生管理に対応した荷捌き施設等の整備への支援 ③ 品質向上技術の開発や機能性評価等による水産加工品の付加価値向上の推進 ④ 新製品の開発や加工処理施設の整備等への支援など漁業者が行う6次産業化の取組みの推進	鮮度保持施設等の整備数 (計画期間(8年間)における整備数計) 4施設 → 4施設
(3) 「富山のさかな」のブランド化と販路拡大	① 大衆魚を含む「富山のさかな」全体のイメージアップと消費の促進、SNS等による情報発信 ② 首都圏でのPR、有名料理人等を招いた「富山のさかな」魅力体験ツアーの実施 ③ サステイナブルな定置網漁業の営みや漁師の姿なども含めたPRの強化 ④ キャンペーンサイトやリーフレットの多言語化による海外向け情報発信 ⑤ 海外バイヤーの招聘や海外見本市への出展支援等による県産水産物・水産加工品の輸出促進 ⑥ ブリ、ホタルイカ、シロエビ、高志の紅ガニの県外・海外での知名度向上の推進 ⑦ 資源の持続性に配慮した水産エコラベル認証の漁業者への周知、認証取得の協議・検討 ⑧ 県産魚の学校給食への提供に対する支援、富山湾の魚や水産業に関する副読本の配布 ⑨ 一般消費者や高校生等を対象としたおさかな料理セミナーの開催への支援	◎県産代表6魚種の産出額 48億円 → 54億円 小中学校給食への水産物食材提供数 30万食 → 現況維持
(4) 担い手の育成、確保と経営基盤の強化	① とやま漁業担い手センターにおける相談窓口の設置、就業情報の提供等 ② ニーズをふまえた多様な漁業体験研修や中核を担う漁業者の育成研修の開催 ③ 外国人雇用に必要な受入れ環境の整備への支援 ④ 新しい情報技術を活用した効率的なスマート水産業の推進 ⑤ リース方式による漁船の導入など漁船や漁業設備等の更新を対象とした制度融資の充実	◎新規漁業就業者数 30人/年 → 40人/年 1漁業経営体あたりの産出額 4,890万円 → 6,000万円
(5) 漁港の機能充実	① 漁港施設の高波対策や耐震、耐津波対策の推進 ② 大規模災害時の事前準備や対策、被災後の行動と役割分担を定めた業務継続計画の策定 ③ 定期的な点検や修繕、改築等による漁港施設や海岸保全施設の機能の保持 ④ 漁業活動の省力化・就労環境の改善のための防風・防暑設備、融雪設備等の整備	県営5漁港のうち高波・地震・津波対策工事の完了漁港数 0漁港 → 4漁港

目 次

序章 策定の趣旨	1
第1章 富山県水産業の現状と課題	2
1 水産業を取り巻く状況	2
2 本県水産業の現状と課題	5
(1) 漁業と水産資源	5
(2) 水産物の安定供給	10
(3) 魚離れとブランド化	12
(4) 漁業経営と水産業の担い手	15
(5) 漁港、漁村、漁場と海岸	17
第2章 富山県水産業の目指す方向	19
1 基本目標と基本施策	19
2 施策の体系	21
3 計画のポイント	22
第3章 推進施策	23
取組みの展開	
(1) 持続可能な漁業の推進	23
ア 水産資源の適切な管理	23
イ つくり育てる漁業の推進	26
ウ 内水面漁業の振興	29
エ 豊かな海・川づくりの推進	31
オ 試験研究の充実と水産技術の開発・普及	33
(2) 安全で良質な水産物の安定供給	36
ア 安全で良質な水産物の安定的な供給の支援	36
イ 衛生管理対策に必要な施設整備の支援	38
ウ 水産加工品の新製品開発やブランド化の推進	39
(3) 「富山のさかな」のブランド化と販路拡大	40
ア 「富山のさかな」の県内外へのPR活動の推進	40
イ 「富山のさかな」の海外向け情報発信	43
ウ 「富山のさかな」の一層のブランド化の推進	44
エ 魚食普及の推進	46
オ 民間に期待される役割	46
(4) 担い手の育成・確保と経営基盤の強化	48
ア 新規就業者の確保と担い手育成への支援	48
イ 漁業経営の効率化・安定化	49
ウ 漁協組織等の経営基盤の強化	50
(5) 漁港の機能充実	51

ア 防災対策の強化	51
イ 漁港施設の長寿命化	51
ウ 漁港施設の整備	51
第4章 推進体制と参考指標	54
1 推進体制 関係者（機関）の役割	54
2 参考指標	56
用語集	57
富山県水産業振興計画策定委員会 委員名簿	61

コラムの目次

① 70年ぶりの漁業法改正	9
② 「富山のさかな」の旬カレンダー	11
③ 富山湾の4大ブランド	14
④ 環境に優しく持続可能な漁法「定置網漁」	25
⑤ サクラマス養殖の新たな取組み	28
⑥ 富山湾と深海生物	32
⑦ 富山湾の水産研究を支える調査船	34
⑧ 富山県の漁師さんの思いと技	37
⑨ 富山のさかなが美味しい理由	42
⑩ 資源の持続性に配慮した水産エコラベル認証	43
⑪ 珍しい漁港施設	53